

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

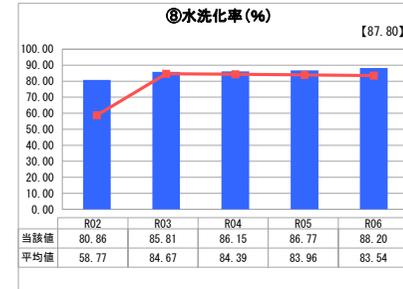
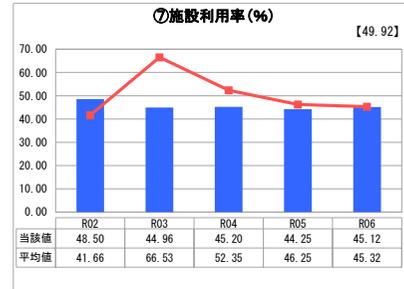
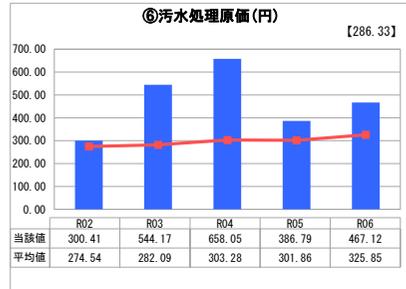
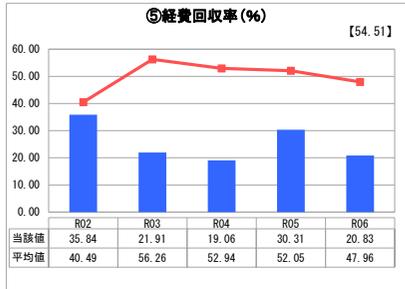
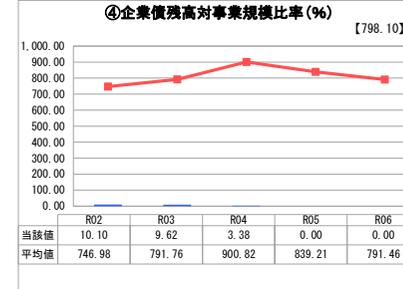
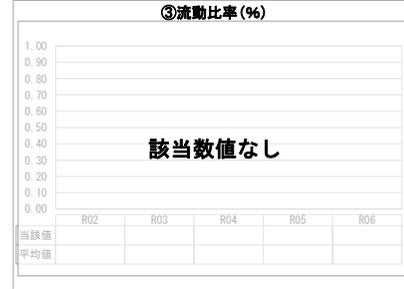
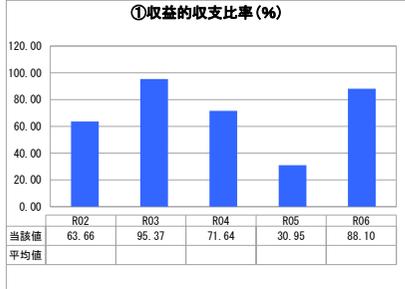
埼玉県 川越市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	0.64	100.00	2,879

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
352,805	109.13	3,232.89
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
2,255	0.67	3,365.67

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率  
 前回と比較して大幅に増加しました。これは、公営企業会計適用に伴う業務委託費等の増加により繰越金が増加したことに伴い、一般会計からの繰入金が増加したことによるもので、一時的なものとなっています。

④企業債残高対事業規模比率  
 類似団体と比較すると、低い数値で推移しています。今後は改修に伴う企業債発行による残高の増加が見込まれますが、低い数値で推移するよう努めます。

⑤経費回収率  
 公営企業会計適用に伴う業務委託等による支出が増加したことにより低下しました。使用料収入の確保と維持管理費の適正化により、経費回収率の向上を目指します。

⑥汚水処理原価  
 公営企業会計適用に伴う業務委託費等の増加により増加しました。維持管理費の適正化に努め汚水処理原価の低下を目指します。

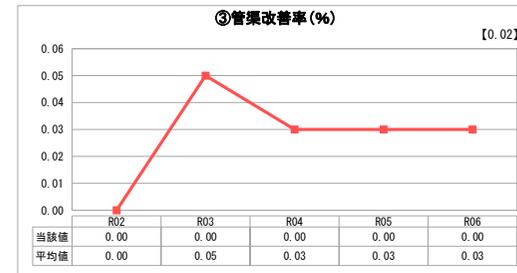
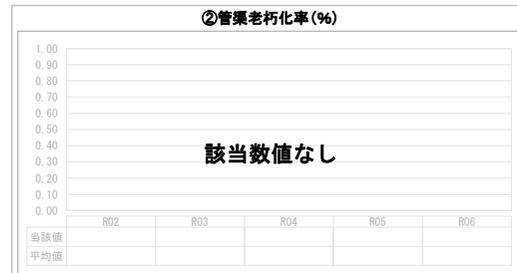
⑦施設利用率  
 他団体と比較すると、同程度の数値となりました。今後も施設の適切な維持管理に努めます。

⑧水洗化率  
 他団体と比較すると、同程度の数値で推移しています。今後もさらなる接続促進に努めます。

### 2. 老朽化の状況について

市内2カ所にある農業集落排水処理施設(鶴田地区、石田本郷地区)の供用開始は、平成18年及び平成24年と近年であるため、老朽化には該当せず、管渠の更新は行っていません。

## 2. 老朽化の状況



## 全体総括

現状の経営状況を踏まえ、健全な事業経営を継続します。使用料については、将来にわたり持続可能なストックマネジメントの推進や適切な原価計算に基づく料金水準を検討します。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。